

## 農学部研究シーズ 2014

|            |                   |   |
|------------|-------------------|---|
| 所属・職・氏名    | 共同獣医学科・准教授・中牟田 信明 |  |
| 紹介する研究シーズ名 | 動物のからだ            |   |
| キーワード      | 解剖、顕微鏡、動物         |   |

シーズの「売り」は！！

### 目では見えないからだの内部が分かる

動物のからだは、たくさんの細胞で出来ています。似たような性質の細胞はまとまって「組織」をつくっています。

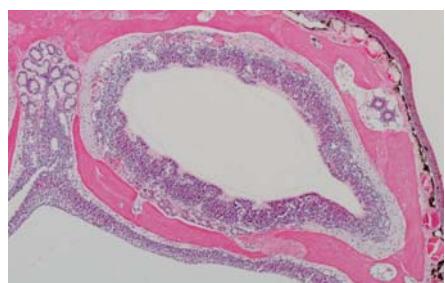
動物を解剖した時に見えてくる肝臓や腎臓、精巣などの「臓器」は、いろいろな組織が組み合わさって出来ています。

臓器をつくる細胞を肉眼で見ることは出来ません。顕微鏡を使って初めて、どんな細胞が組織をつくり、臓器を構成しているのか分かります。

動物のからだの中がどんな構造になっているのか、肉眼では見えない世界を顕微鏡で明らかにします。



正面から眺めたイモリの鼻の断面



顕微鏡で見た鼻粘膜を構成する組織

#### 【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

農業、食品、流通分野等における品質管理

関連特許・関連資料等